

第3学年2組 国語科学習指導案

指導者 ○○○○○

1 日時・場所 令和6年(2024年) 6月12日(水) 5校時 3の2教室

2 単元名 登場人物のへんかに気をつけて読み、すきな場面について話し合おう
 (教材名) 「まいごのかぎ」光村図書 3年

3 単元・教材について

【単元の目標】

- ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。(思C(1)エ)
- ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。(知(1)オ)

【単元の評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1) オ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	C(1) エ 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	登場人物の気持ちの変化について、進んで場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って物語の好きな場面について話し合おうとしている。

【教材の特性】

「まいごのかぎ」は、題名そのものも魅力的であり、題名から自由に想像することで、物語への期待感が膨らむ。また、比喩表現やオノマトペ、擬人法などが多用され、不思議な世界を生き生きと描き出している。そのため、児童が言葉の豊かさを味わうことができる教材である。さらに、冒頭にある叙述が離れた場所で繰り返されるなど、物語全体を見渡して読むことを意識することができる物語である。場面と場面を比べたり、登場人物が大きく変わる箇所を見つけたりといった思考を促すことで、児童の読みが深まるようにしたい。授業展開としては、作者の多様な表現を取り上げたり、友だちと考えや感想を交流したりする活動などにより、児童一人一人が感じ方の違いや、物語の多様な楽しみ方など、新たな気づきを広げていくようにする。

【単元計画】(全8時間)

	主な学習活動 代表的な子どもの姿(・)	評価規準
第 一 次	①教師の範読を聞いて物語のおおまかな内容を捉え、一言感想とその理由(読後感)を書く。 ・不思議 ・楽しい ・おもしろい ・ベンチが動くななんて不思議だから。 ・バスがダンスするなんておもしろい。 ・みんなの感想も聞いてみたいな。 ②一言感想と理由をもとに学習問題をつくり、学習の見通しをもつ。【本時】 ・自分と同じだ。	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基におおまかに捉えている。(発言・記述)

	<ul style="list-style-type: none"> ・一言感想は同じだけど、理由が違う。 ・何で「りいこ」はうさぎを消したのだろう。 ・どうして、「まいご」なんだろう。 ・かぎは、どこにいったのだろう。 ・最後に「りいこ」が嬉しくなったのは、なぜだろう。 	<p>物語の内容について想像しながら楽しみ、進んで学習計画を立てようとしている。(観察・発言)</p>
<p>第二次</p>	<p>③④場所や出来事確かめながら、場面分けをして、それぞれの場面の出来事と「りいこ」の気持ちをノートに書き、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来事で文章を分けると、考えやすい。 ・ものが動くなんで、おもしろい。 ・「でも、もしかして…」で、「りいこ」が実は楽しんでいる気持ち、何となく分かる気がする。 ・バスが動くあたりの場面が好きだな。 <p>⑤物語の最初と最後で、「りいこ」の考え方にどのような変化があったのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初は、よけいなことをしてしょんぼりしている。 ・最後は、よけいなことをしても嬉しくなっている。 ・考え方が変わったのは、なぜだろう。 <p>⑥物語の最初と最後で、「りいこ」の気持ちにどのような変化があったのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「りいこ」が嬉しくなったのは、うさぎが出てきたからかな。 ・よけいなことと思っても相手は楽しんでいたんだ。 ・最後に「りいこ」の気持ちが明るくなってよかった。 ・最後の場面が長いけど、一番おもしろいな。 ・みんなは、どの場面が好きなんだろう。 	<p>様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。【知】発言・記述</p> <p>場所と出来事に着目して場面に分け、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。(発言)</p> <p>「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて、具体的に想像している。【思】発言・記述</p> <p>出来事と登場人物の気持ちを積極的に結び付けて考え、気持ちの変化を捉えようとしている。(発言・記述)</p>
<p>第三次</p>	<p>⑦学習問題や物語でおもしろいと感じたことをもとに、好きな場面とその理由について書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バスの場面が一番楽しそうでおもしろい。 ・最後の場面が「りいこ」が嬉しくなってよかった。 <p>⑧感想を交流し、振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友だちと感じ方が違うんだな。 ・他の話も読んでみたい。 	<p>登場人物の気持ちの変化について、進んで場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って物語の好きな場面について話し合おうとしている。【態】観察・発言</p>

4 児童の実態と《目指す児童の姿》に迫るための手立て

【児童の実態】

- 興味関心をもって物語文を読むことができる児童が多い。
- 友だち同士の仲がよく、相手と関わり合おうとすることができる児童が多い。
- 個々で取り組む課題に対して前向きに取り組もうとする児童が多い。

- 文字を読むことに慣れていない児童がいる。
- 全体的に文章を読み取る力が低い。
- 思いや考えを書いたり、話したりすることを苦手とする児童が多い。
- 自分たちで意見や考えをまとめる経験が少ない。



《目指す児童の姿》(中学年ブロック)

対話を通してかかわり、判断したり、調整したりする児童



【目指す児童の姿に迫るための手立て(単元を通して)】

①一言感想とその理由(読後感)から、学びをつなぐ。

- ・どの児童も自分の思いや考えを書けるように、初発の感想を一言で書くようにする。自分の考えを表現したいと思うきっかけをつくと共に、自分の思いや考えを対話(文章と読み手、読み手同士)を通して共有することで、自分の考えが仲間の学びにつながっていることを感じられるようにする。

②読後感から「問い」をつくる。(本時)

- ・児童の疑問や思考のずれ等から、子どもたち自身が「解決したい。」「友だちと話し合いたい。」というような「学びの必要感」のある学習問題(問い)をつくることで、学びを自分事として取り組むことができるようにする。(考える必然性)

③読みの視点を中心人物の「りいこ」に限定する。

- ・読みの視点を限定して場面と場面を比べたり、登場人物が大きく変わる箇所を見つけたりすることで、読みが苦手な児童も叙述を基に自分の考えをまとめられるようにする。(考えの根拠の明確化)

④子どもたちから生まれる考えのずれや疑問を大切にする。

- ・学習問題や学習課題では、対話に必然性をもってペアワークやグループワークに取り組むことにより、思いや考えに根拠をもったり、新たな見方に気づいたりするなどして自分の読みを深めるようにする。(考えの共有化・考えの相違の自覚化)



研究テーマ

学び合い、高め合う子どもの育成

～自ら考え判断し学んでいこうとする児童の姿をめざして～

5 本時について（2／8時間）

【本時目標】

一言感想とその理由をもとに学習問題をつくり、学習の見通しをもつことができる。

【本時展開】

<p>学習のめあてと活動 教師の関わり（○）、子どもの姿（・）</p>	<p>支援・留意点（・） 評価（○）【評価項目】／方法</p>
<p>①学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○みんなの感想をもとに「問い」を作ろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・前の「春風をたどって」でやってみたいなことが。 ・友だちの感想が知りたい。 <p>②一言感想を共有し、その理由を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「不思議」が多いな。 ・友だちと理由が違う。 ・なるほど、そういうことか。 <p>○理由を聞いてみたい友だちの感想はありますか。</p> <p>③読後感をもとに、「問い」をつくる。</p> <p>○グループで「もっと読んでみたいこと」を話し合い、問いづくりをしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなは何て書いたのか知りたい。 ・友だちと話し合ってみたいな。 ・「りいこ」が嬉しくなったのは、なぜだろう。 <p>④本時の学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問いの答えは何だろう。 ・音読がんばろう。 ・もっと読んでみたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに、一言感想をノートに書き、オクリンク（手書き）で提出するようにしておく。 ・学習のめあて、学習の仕方を確かめながら、本時の見通しをもつ。 ・オクリンクを活用して感想一覧をモニターに映し、全員の感想が可視化できるようにする。 ・すぐに解決できてしまいそうなものや、解決が難しすぎるものについては個別に声をかける。 ・グループで複数の問いを出してもよいことを伝える。 <p>○物語の内容について想像しながら楽しみ、進んで学習計画を立てようとしている。【態】観察・発言</p>